

情報公開文書

「腎癌肺転移切除例の後方視的研究

（転移性肺腫瘍研究会症例登録事業からの提供データ解析）」

1. 研究の対象となる方

1990年1月から2023年12月までの間に、千葉県がんセンターを含む転移性肺腫瘍研究会参加施設で腎癌肺転移の手術を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

この研究では、千葉県がんセンターを含む全国の転移性肺腫瘍研究会参加施設で腎がん肺転移の手術を受けられた患者さんの経過を比較・検討することで、どのような患者さんに腎がんの肺転移切除の手術を行うと有効性が高いのかを明らかにすることを目的としています。研究の方法は、既に存在している情報（カルテの記載や検査データなど）から研究会に登録された内容の調査です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、過去に収集された転移性肺腫瘍研究会での症例登録事業で収集されたデータを使用します。試料は用いません。登録されている診療情報は、病歴、治療の方法・内容・効果・副作用、転帰等です（この登録事業については、千葉県がんセンターホームページ内の「患者さんにお伝えしたいこと」→「診療情報提供に関するオプトアウト」→「転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース：多施設共同症例登録事業への提供について」を御参照下さい）。診療情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）が削除された状態で解析に用いられます。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター内で行う研究であり、研究責任者は坂入祐一（呼吸器外科）、研究分担者は岩田剛和（呼吸器外科）です。対象となるデータは全国の転移性肺腫瘍研究会の参加施設から登録されたデータです。

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、削除された

状態で研究会から当院研究責任者に提供されます。病歴や治療法、治療内容、効果、副作用、転帰などの診療情報は全て匿名化されており、個人の同定はできません。転移性肺腫瘍研究会より提供された診療情報は研究責任者が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報を用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、呼吸器外科の運営資金を用いて行います。本研究の実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会で承認され、病院長から研究実施の許可が得られています。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者：千葉県がんセンター呼吸器外科

坂入祐一

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL：043-264-5431（代表番号）

版管理番号：ver1.3（2025年2月23日）